

第5回 ワークライフバランス/男女共同参画推進 研修会

令和元(2019)年6月19日

広島大学女性活躍促進賞「メタセコイア賞」を受賞して ～戦後の女性の生き方の変化、そして本学の女性問題～

講師：松田文子氏（福山大学 学長）

広島大学女性活躍促進賞「メタセコイア賞」を受賞した松田文子学長による令和元年度第1回大学教育センターのSD研修会が、ワークライフ支援室（男女共同参画推進室）研修会を兼ねて6月19日（水）に開催されました。



これから始まります



司会の杉原教授



始まりました

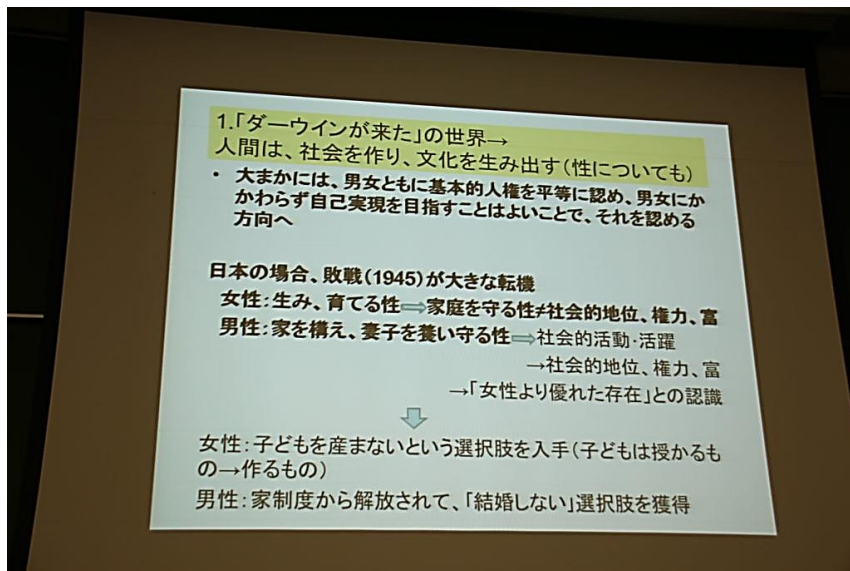


新聞3紙の見出しに見る女性・男性のワード

新聞3紙（朝日新聞・中国新聞・産経新聞）の見出しから女性と男性に関するワードに注目してみると、いかに女性が注目されているかがわかります。この3紙をチョイスしていることも、松田学長のバランス感覚の表れとのことです（場内で笑い）。

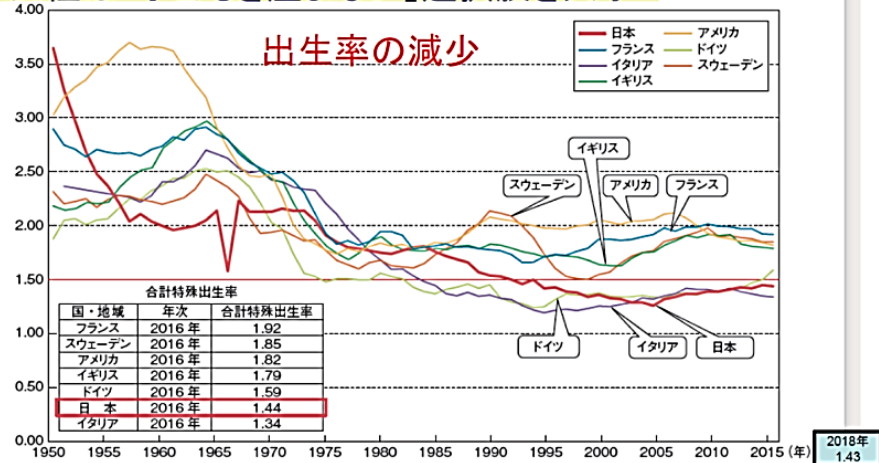


聴衆に語りかける松田学長



1945年の敗戦が転機となって男女とも自己実現を認める方向へ

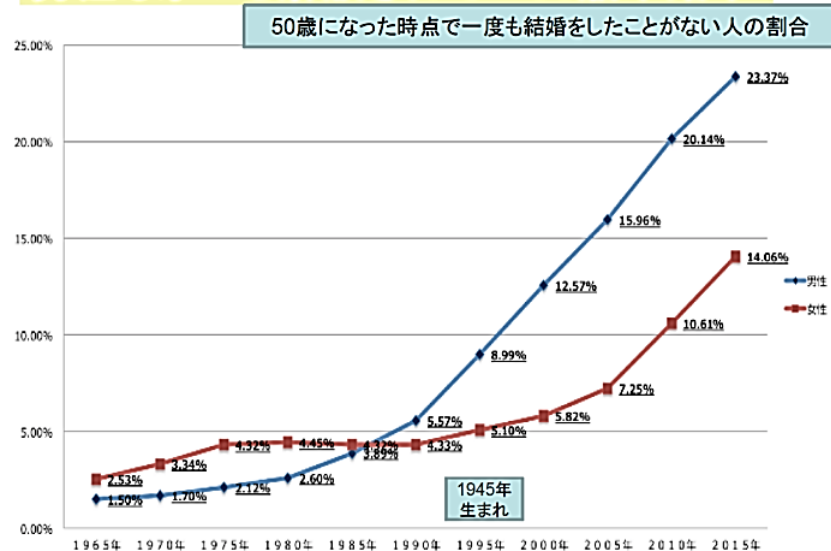
女性「子どもを産まない」選択肢を入手



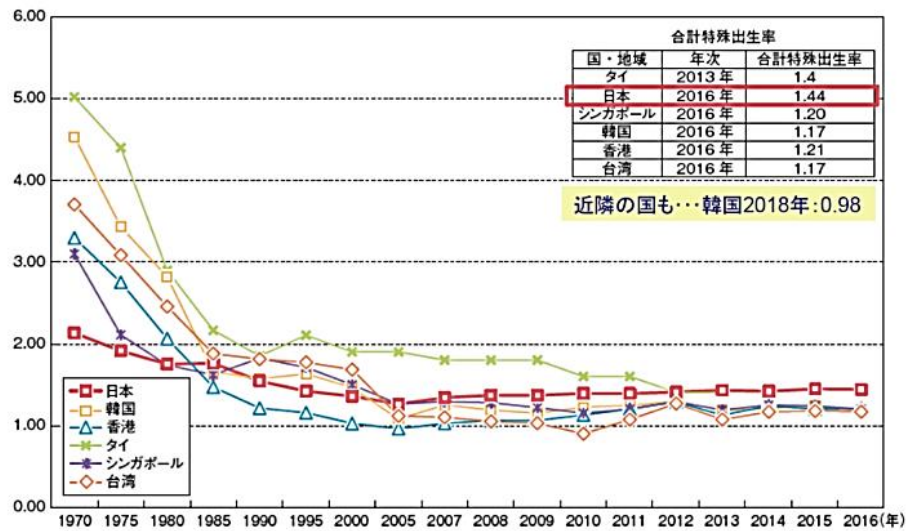
資料：諸外国の数は1959年までUnited Nations "Demographic Yearbook"等、1960年～2015年はOECD Family database、2016年は各国統計、日本の数は厚生労働省「人口動態統計」より内閣府作成。
注：2016年のフランスの数は平成30年5月16日現在で暫定値となっている。

子どもを産まない選択肢を入手することで出生率は減少へ

男性も家から解放されて→50歳未婚率



特に男性の50歳未婚率の増加が目立ちます



資料：United Nations "Demographic Yearbook", WHO "World Health Statistics", OECD Family databases
各国統計、日本は厚生労働省「人口動態統計」を基に内閣府作成。

近隣諸国も出生率は低下

2.男女平等の思想の法制化

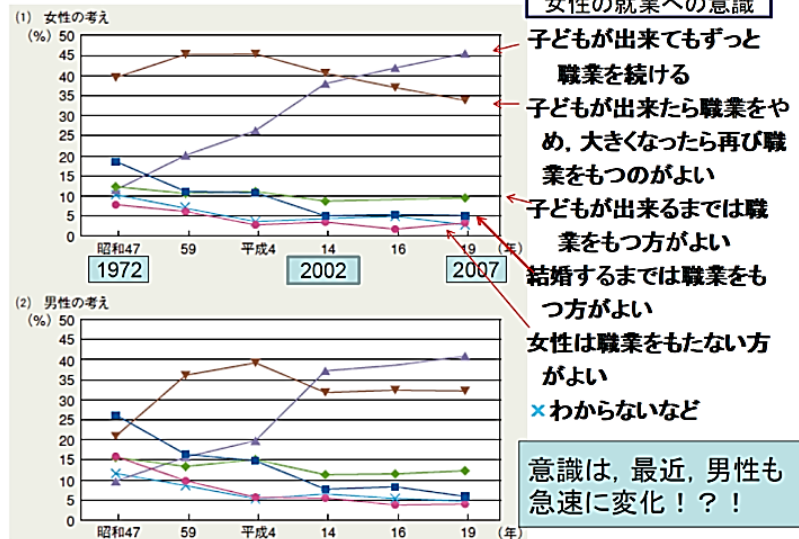
- ・ 衆議院議員選挙法改正(女性参政権)(1945年)
- ・ 憲法 第24条(1946年)・・・夫婦が同等の権利を有する・・・
個人の尊厳と両性の本質的平等に立脚して、...
- ↓40～50年
- ・ 男女雇用機会均等法(1985年)
- ・ 男女共同参画社会基本法(1999年)
- ↓20～30年
- ・ 女性活躍促進法(2016年)
- ・ 候補者男女平等均等法(2018年)
- 2017年 衆院選 女性17.7%
- 2015年 統一地方選 女性11.6%

男女平等思想は法制化



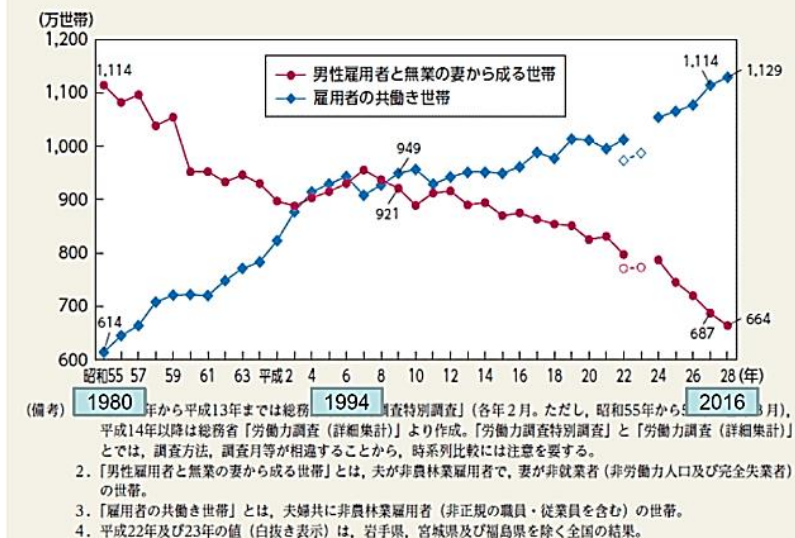
熱心に聴き入る教職員

3.意識・行動・社会的地位等の男女差の変化:①女性の就業



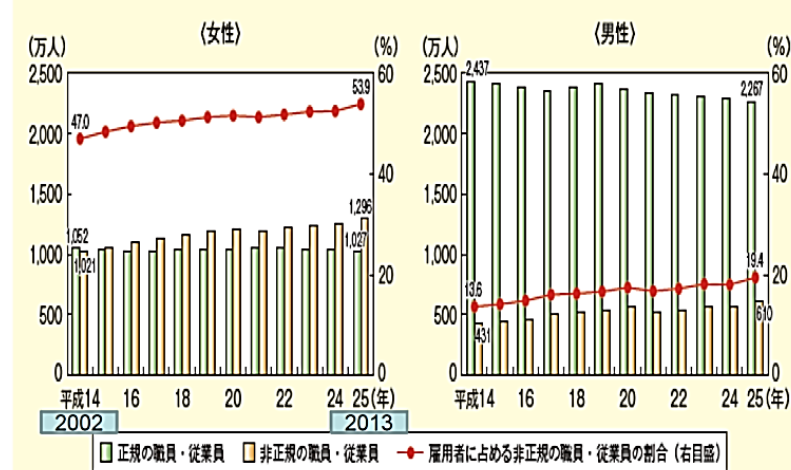
男女とも出産後も職業を続ける意識が高まっています

I-3-4図 共働き等世帯数の推移



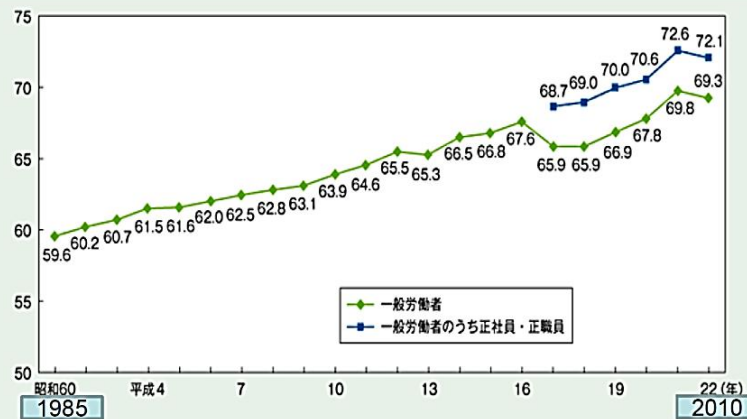
平成9年以降は共働き世帯が主流に

a. 雇用者数の推移(男女別、平成14年→25年)



女性は非正規労働者の割合が顕著となっています

第1-2-15図 男女間所定内給与格差の推移（男性の所定内給与額=100）

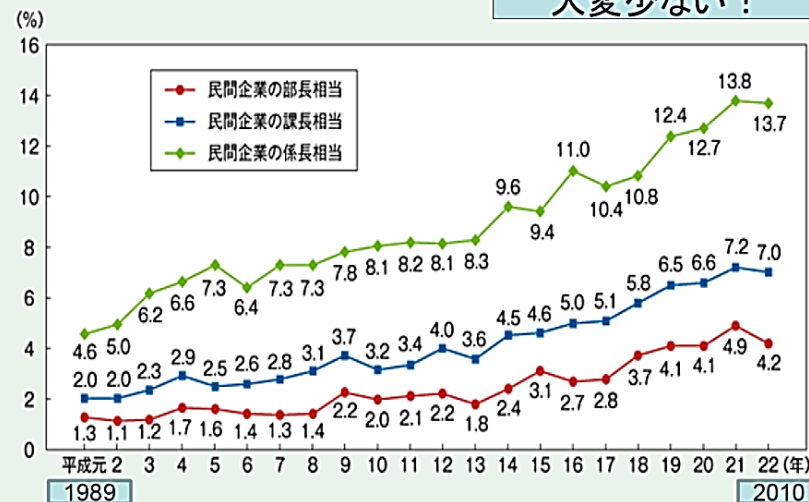


- (備考) 1. 厚生労働省「賃金構造基本統計調査」より作成。
 2. 「一般労働者」は、常用労働者のうち、「短時間労働者」以外の者をいう。
 3. 「短時間労働者」は、常用労働者のうち、1日の所定労働時間が一般の労働者よりも短い又は1日の所定労働時間が一般の労働者と同じでも1週の所定労働日数が一般の労働者よりも少ない労働者をいう。
 4. 「正社員・正職員」とは、事業所で正社員、正職員とする者をいう。
 5. 所定内給与額の男女間格差は、男性の所定内給与額を100とした場合の女性の所定内給与額を算出している。

正社員・正職員であっても女性の給与は男性に及んでいません

第1-2-13図 役職別管理職に占める女性割合の推移

増えてはいるが
大変少ない！

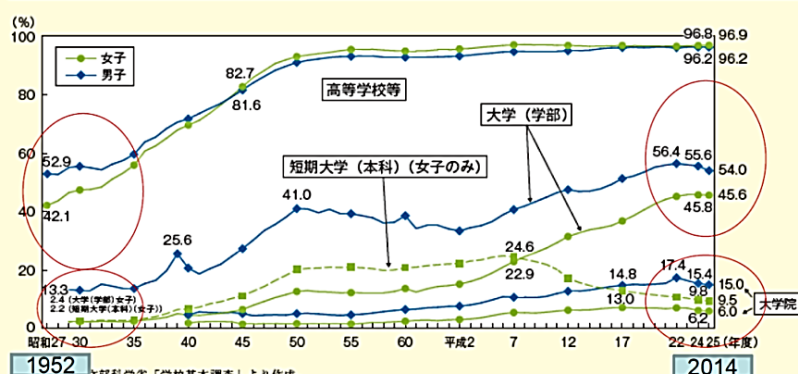


(備考) 厚生労働省「賃金構造基本統計調査」より作成。

民間企業の女性管理職も増えてはいますが決して多くはありません

3.意識・行動・社会的地位等の男女差の変化:①女性の学び

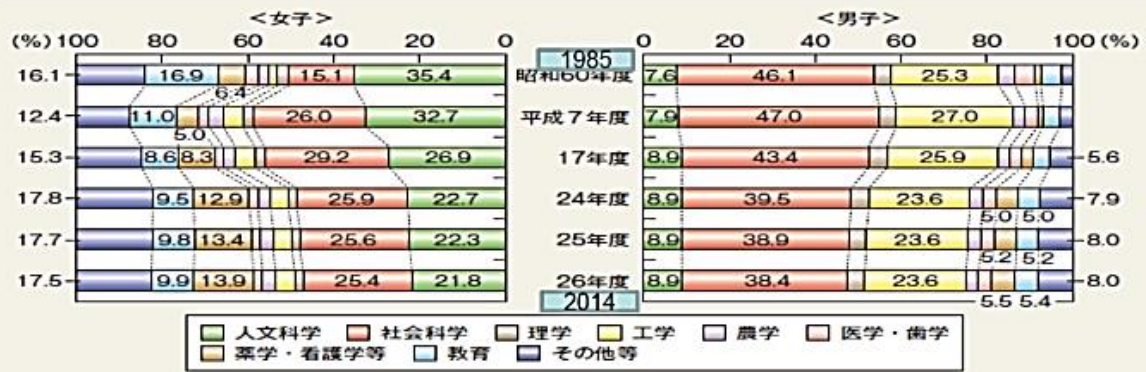
1-5-1図 学校種類別進学率の推移



- (備考) 1. 文部科学省「学校基本調査」より作成。
 2. 高等学校等：中学校卒業後及び中等教育学校前期課程修了者のうち、高等学校等の本科・別科、高等専門学校に進学した者の占める割合。ただし、進学者には、高等学校の通信制課程（本科）への進学者を含まない。
 3. 大学（学部）：短期大学（本科）：過年度高卒者等を含む。大学学部：短期大学本科入学者数（過年度高卒者等を含む。）を3年前の中学卒業後及び中等教育学校前期課程修了者数で除した割合。ただし、入学者には、大学又は短期大学の通信制への入学者を含まない。
 4. 大学院：大学学部卒業後、直ちに大学院に進学した者の割合（医学部、歯学部は博士課程への進学者）。ただし、進学者には、大学院の通信制への進学者を含まない。

ここ20年あまりで女子短期大学への進学率が低調に（学部進学率は増加）

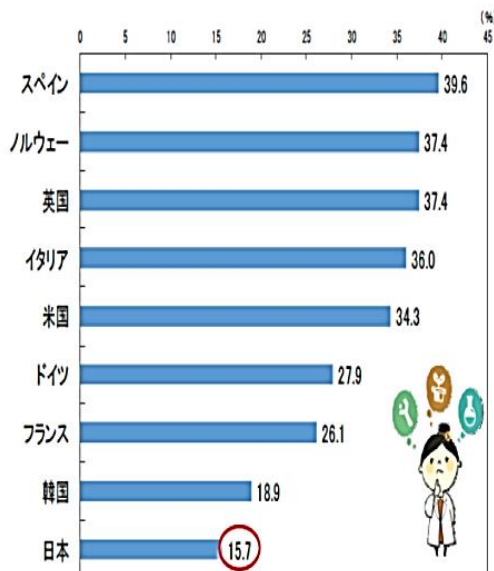
I-6-4図 専攻分野別に見た学生分布（大学（学部））の推移（男女別）



女性も男性も、時代によってあまり変わらず！
領域の男女差埋まらず！

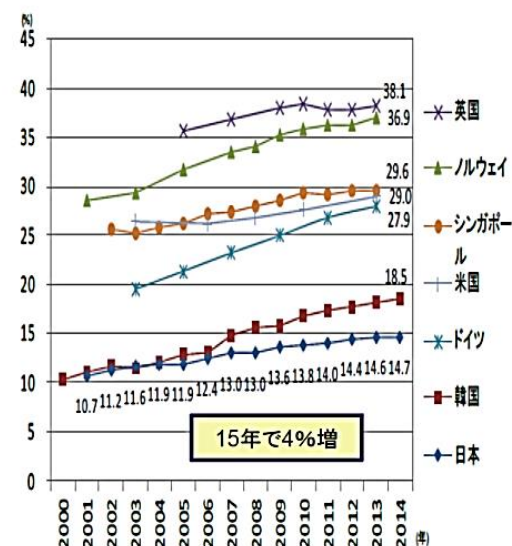
時代が変わっても分野の男女割合はあまり変化なし

<諸外国の研究者に占める女性割合>



<調査対象国における女性研究者の割合>

（「理工系分野における女性活躍の推進を目的とした関係国の社会制度・人材育成等に関する比較・分析調査報告書」（内閣府男女共同参画局、2017年）より抜粋）



「女性ががんばって！」の社会から、なかなか抜けられない！抜けないうちに・・・→

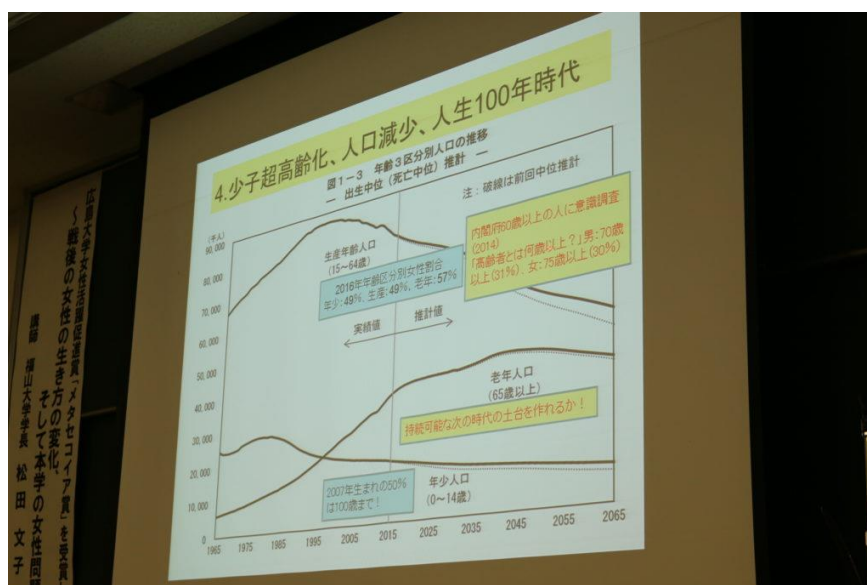
本での女性研究者の割合はなかなか増えません



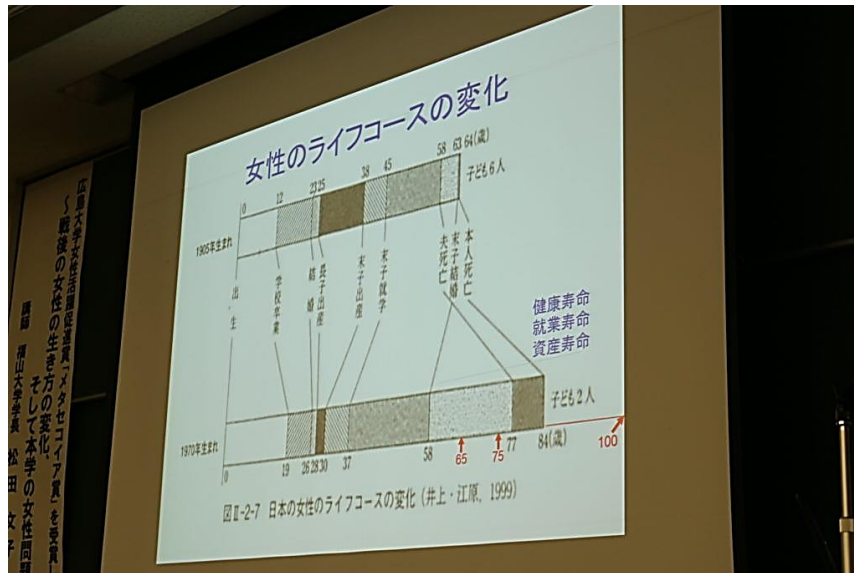
スマホやタブレットなども活用しながら大勢の教職員が熱心に聴き入っています



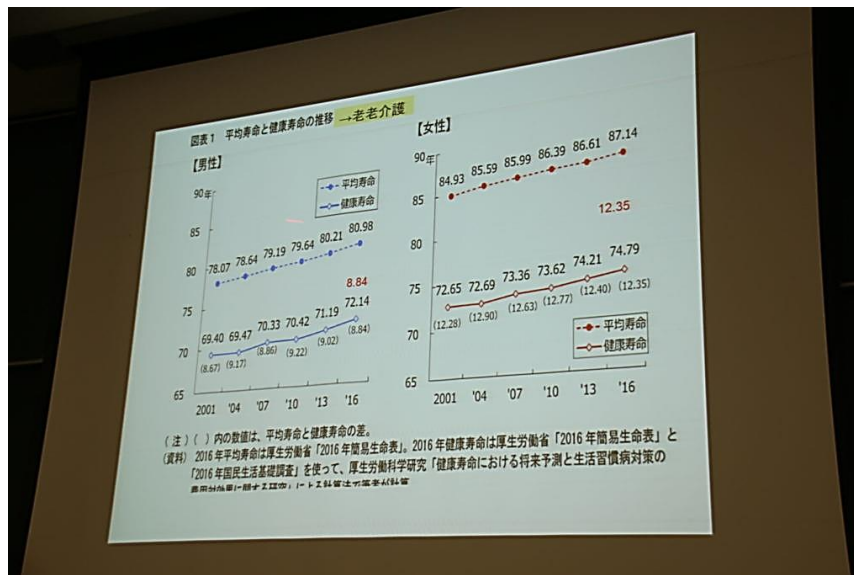
松田学長も熱が入ります



生産年齢人口の減少を食い止めるだけの年少人口の増加が見えません

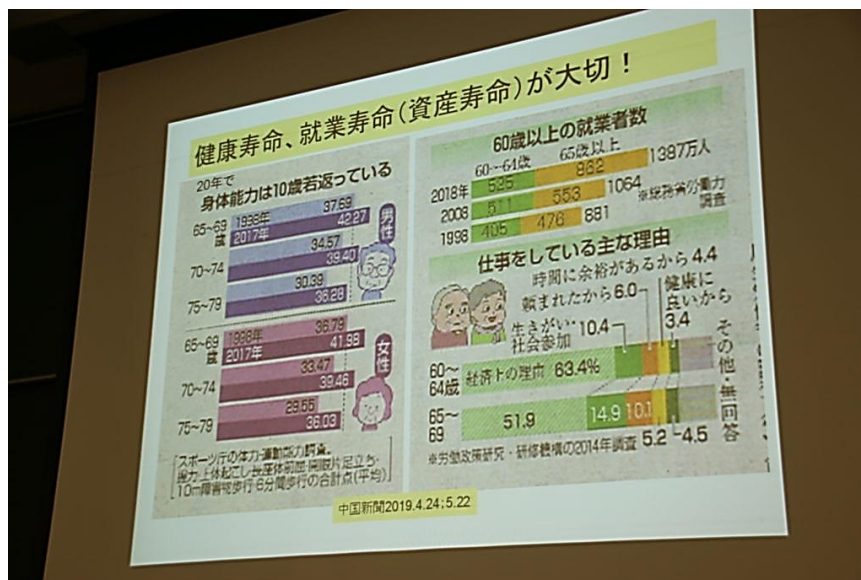


女性のライフコースの変化



平均寿命と健康寿命の推移

この資料で私（石丸）が個人的に印象的だったのが、女性の平均寿命は男性よりも長いのに、健康寿命はそれほど長くないということです（少ない給与で頑張ってきたというのに・・・）。ここから言えることは、特に女性に対する介護の需要があるはずだということでしょう。家庭内での老老介護が現実としてありますが、家庭単位に責任を押し付けるのではなく、社会全体の対策として介護施設を実感的に利用しやすい料金設定に見直した上に介護業界で働く方たちの待遇面がもっと改善されないといけなのではないでしょうか。



健康寿命も資産寿命も大切
年金問題は本当に問題です。

福山大学の女性問題≠ハラスメント

●女性教員の割合

- 2010.6学長
- 2011年度に採用人事で公募開始(2012年度採用人事)
- 2015年度以降の公募書類には、ささやかなポジティブアクション「本学では男女共同参画を推進しており、教員の女性比率の向上を図っています。教員採用においては、教育研究に関する業績と能力が同等と認められた場合には、女性を積極的に採用します」
- 2012~2015新規採用教員女性割合(助手を除く): 27%
- 2016~2019新規採用教員女性割合(助手を除く): 33%
- 2019年度全学教員女性割合(助手を除く): 14%

(2004年 心理学科開設、2008年 生命栄養科学科開設)

福山大学の女性問題 (ハラスメントのことではありません)

●女子学生割合とその向上策

年度別入学人数一覧表

年度	学部生			合計	大学院生			合計
	男子	女子	女子割合		男子	女子	女子割合	
平成21(2009)年	739	554	185	25%	45	34	11	24%
平成22(2010)年	773	602	171	22%	39	22	17	44%
平成23(2011)年	695	501	194	28%	23	11	12	52%
平成24(2012)年	752	556	196	26%	33	21	12	36%
平成25(2013)年	803	561	242	30%	27	14	13	48%
平成26(2014)年	736	521	215	29%	23	16	7	30%
平成27(2015)年	750	532	218	27%	20	15	5	25%
平成28(2016)年	865	632	233	27%	20	14	6	30%
平成29(2017)年	894	634	260	29%	33	12	21	64%
平成30(2018)年	900	642	258	29%	22	13	9	41%
令和元(2019)年	914	670	244	27%	23	16	7	30%

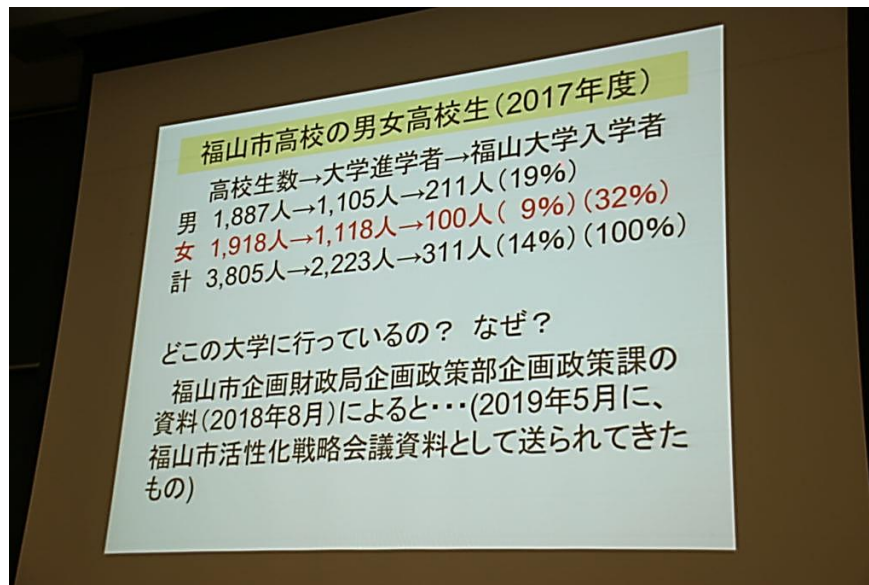
平成大女子学生割合: 53%

2019年度在学生女性割合30%、2019年度学長賞(学業部門)女性割合38%

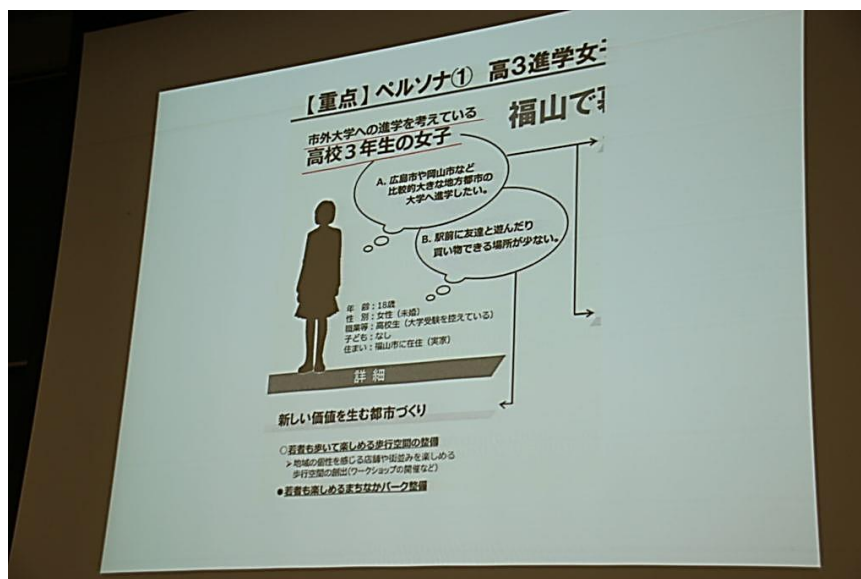
なかなか超えない女子学生3割の壁



女子学生を増やすためには何が必要ですか（話は佳境に入ってきました）



福山市内の高校生が福山大学に入学する割合（男女比は7対3）

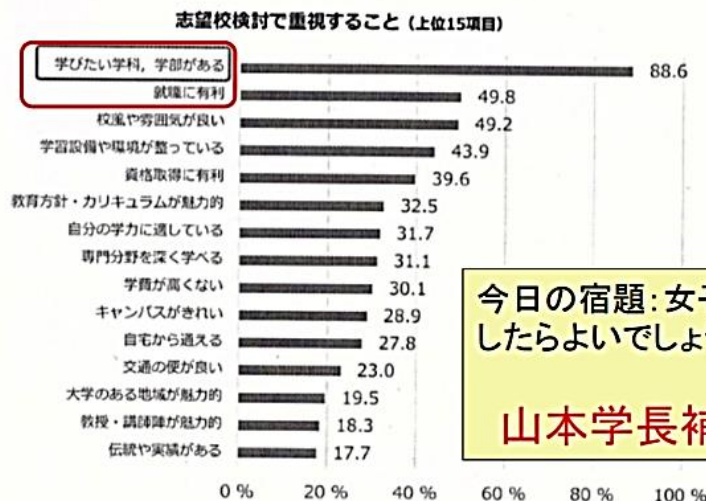
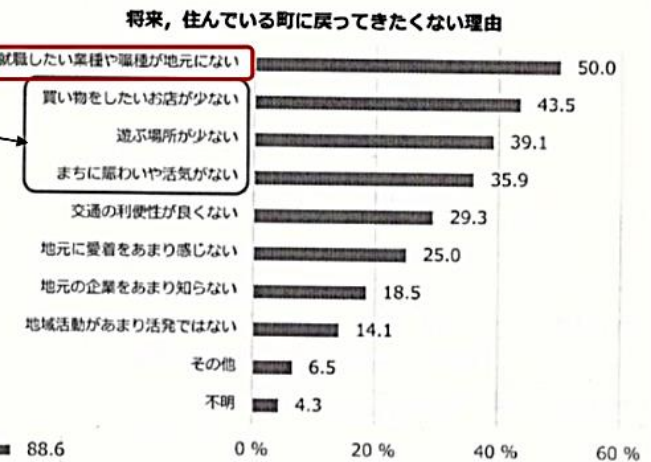


福山市内在住高校生3年女子の本音

福山市在住 高校3年生の進路状況

		女子高校生	男子高校生
進学	大学等	12.3% 280人	12.2% 280人
	市内	44.4% 1,011人	44.1% 1,009人
	市外	25.8% 588人	20.7% 474人
就職	市内	10.2% 232人	15.7% 359人
	市外	0.8% 19人	2.7% 62人
その他		6.5% 148人	4.6% 105人
合計		100% 2,278人	100% 2,289人

※「平成27年国勢調査人口等基本集計」などを基に推計



今日の宿題: 女子学生にもっと入学してもらうには、どうしたらよいでしょう！ ←18歳人口がさらに減少する前に

↓

山本学長補佐中心に自薦・他薦のWG

※「高校生の「進学・就職」に関する意識調査」(2015年)から市内高校生、女性の回答を集計

もっと福山市に活気を！知的好奇心を呼び起こし就職にもつながる学部学科が選ばれる？



質疑応答では談笑の場面も





松田学長は、研究者として駆け出しのころに「女性であることを言い訳にはするな」と指導教官に厳しく言われたそうです。実際に「結婚・出産・育児を抱える女性研究者を育てることの難しさに直面した」という場内からの声もありました。最後の松田学長の笑顔の奥に現実の重さが垣間見える思いです。

最後になりますが、この度のメタセコイア賞の受賞、誠におめでとうございます！

学長室ブログより （報告担当）経済学部 准教授 石丸敬二

ワークライフ支援室(男女共同参画推進室)研修会 / 大学教育センターSD研修会



1945年の敗戦と翌年の新憲法の制定等により、日本の男女の在り方は大きく変わり、社会の変化と相互作用して今日に至っていますが、法的な平等が日常生活に十分及ばないうちに、少子超高齢化、人口減少、人生100年の難しい時代に突入しました。

その時、福山大学は？！？

**広島大学女性活躍促進賞
「メタセコイア賞」を受賞して
～戦後の女性の生き方の変化、そして本学の女性問題～**

日時：2019年6月19日(水) 15:40～16:40
場所：福山大学 工学部棟 24号館3階 2432教室



講師：松田 文子氏
福山大学学長